



# Tanabe East Rotary Club in 2015-16

2015-16年度RI会長: K.R. ラビンドラン  
 第2640地区アクティングガバナ: 辻 秀和  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 坂本 正人  
 幹事: 畔田 実  
 会報: 本田 耕二 委員長

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 http://tanabe-east-rc.com/  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~  
 ビジターフィー ¥2,000



## ○本日の唱歌

唱歌委員 早稲田 清司 君  
 「あゝ田辺東ロータリー」  
 作詞: 青木 泰秀  
 作曲: 古家 通代



## ○ゲスト: ビジター

NPO法人白浜レスキューネットワーク 理事長 藤藪 庸一様



故 小倉貞三 名誉会員 夫人 小倉 静香 様



田辺はまゆうRC



\*菊池 正紀様 \*松本 博子様

## ○出席報告

会員数 48名 義務免除 3名 本日の欠席者 10名  
 出席率 77.78% 9月2日の修正出席率 95.65%

## ○ここにこ報告 (敬称略)

◇NPO法人 白浜レスキューネットワーク理事長 藤藪庸一様 をお迎えして

愛須勝章、後藤信博、本田耕二  
 木村壽一、小山實、畔田実  
 丸山博之、森本修至、中川文恵  
 中嶋伸和、野村憲司、岡本博  
 佐田一三、坂本正人、武田静也  
 竹村英一、谷中順次郎、山本巨  
 玉置和男、上原俊宏、吉本正美  
 早稲田清司

◇本日はお世話になります。  
 田辺はまゆうRC  
 菊池正紀様、松本博子様



◇本人誕生日 猪野 泰志

◇南部~串本(枯木灘)まで 紀中、紀南の海岸線が、国の指定公園に決定したそうです。11月頃に式典やイベントを催されるとか。  
 吉田和枝



◇お花頂きます。  
 岩崎 泰人





## ○会長報告

坂本 正人



■先週は会長が欠席のため、佐田副会長に会長代理を務めて頂きました。  
佐田さん、有り難うございました。

■本日のお客様は、NPO法人 白浜レスキューネットワーク 理事長 藤藪 庸一様です。  
後ほど宜しくお願い致します。

■本日は、故 小倉貞三 名誉会員 夫人 小倉静香様が当クラブの例会にお越しくださいました。  
有難うございます。  
どうぞ、ごゆっくりなさってください。

■9月12日(土) 第1回青少年交換委員長会議が開催される予定でしたが中止になりました。

■本日例会終了後に定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

## ○幹事報告

畔田 実



### ■例会日時変更

- ◎田辺RC 9月24日(木)→ 休会  
10月1日(木)→ 休会
- ◎高野山RC 9月25日(金)→ 9月26日(土)  
場所：高野山奥の院前  
<台風18号による豪雨被害被災への募金活動>

### ■回覧

- ◎「シーカ125号」
- ◎「ハイライトよねやま186号」

### ◎田辺保健所衛生環境課より

「平成27年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動街頭キャンペーンについて(依頼)」

### ◎アクティングガバナー辻秀和事務所より

「2015-2016年度 国際ロータリー第2640地区アクティングガバナー事務所開所のお知らせ」

「2015-2016年度 会長幹事名簿作成について」

「2015-2016年度「地区資金」送金の確認について」

「中止のお知らせ(2015-2016年度RI 2640地区第1回青少年交換委員長会議)」

「2015-2016年度当地区の各種役員並びに各種委員会委員長について」

「会員数等報告書の提出のお願い」

### ■連絡

◎来週9月23日(水)は祝日のため例会は休会です。  
次回の例会は9月30日(水)です。

## ○委員会報告

\*親睦委員会 玉置和男君

10月10日(土) 弁慶祭りの夜、例年通り親睦委員会主催の「花火を見る会」を開催します。栗山侑三会員の別宅をお借りします。皆様の参加宜しくお願い致します。



## ○委員会報告

\*坂本正人会長

本日は、故 小倉貞三 名誉会員 夫人 小倉静香様が当クラブの例会にお越しくださいました。

「志」を頂きました。有難うございます。

どうぞ、ごゆっくりなさってください。





## ○ NPO法人白浜レスキューネットワーク

理事長

藤藪 庸一 様



和歌山県生まれ。1999年より白浜バプテスト基督協会牧師を務めながら、三段壁で自殺を図ろうとする人々の支援活動に取り組む。

2006年にNPO法人白浜レスキューネットワークを設立。

### 活動内容

#### 1. 自殺者救済活動

- ・いのちの電話
- ・三段壁パトロール

白浜三段壁では自殺者があとを絶たない。30年前から「いのちの電話」の活動が始まり、電話だけではなく、実際に会って、相談を受けるようになった。保護件数は、年間30件を超える。相談電話件数は、三段壁以外からもあり、1260件を超える。

#### 2. 生活自立支援活動

保護した方々が自立するには、乗り越えなければならない問題がたくさんある。実際的な問題は、自己破産や就職活動など。そして、もっと大切なのは、心身共に回復しなければならないことだ。これらの問題を解決していくために畑を作り共同生活をしている。

#### 3. 自殺予防活動

- ・学習支援活動 コペル君

自殺へと追い込まれる方々は皆、孤独を味わっている。孤独な状態に陥るまでには、様々な問題を抱え悩み苦しんでいる。彼らに必要なのは人の助けと時間だ。水際での救助活動に至る前に何かできないか。人が自殺に至らない社会づくり、人づくりを目指している。

\*白浜町三段壁は、紀南地方を代表する観光名所のひとつですが、残念なことにそこから身を投げ自ら命を絶とうとする人は少なくありません。そんな現況を前に、私の前任の江見牧師が1979年に「三段壁いのちの電話」を開設し、ギリギリの所で自殺を食い止める活動を始めました。私自身も、小学校1年生からこの教会に通っていました。

その頃にはすでに自殺防止の取組が始まっていて、当時から教会には色んな人がいました。そして小学校

6年生の時に牧師になろうと思い立ちました。その決意通り、大人になって牧師になり、この教会と自殺防止活動を引き継ぎました。主な活動は三段壁の見回りで、年間100人くらいを保護しています。三段壁だけではなく、駅や道端で保護することもあります。また、私達の活動を知って県外から相談に来られる方もいらっしゃいます。

そして、保護した方々を自立に導くため、地道な支援活動をしています。現在、保護した20名位の方々と共同生活をしながら、彼らが生きる希望を取り戻すため、生活面での支援や仕事に就くための支援、多重債務の場合では自己破産の手続等、様々な支援をしています。また、「放課後クラブ・コペルくん」という小学生中心の学童保育にも取り組んでいます。自殺を考える人たちが抱えている劣等感は、子供の頃に身につけてしまっていることが多く、そういう劣等感をなくしていきたい、という思いから活動しています。自殺予防の観点からは「正しい方法で助けを求める」ことが大切ですが、そういった方法も身につけられるようにしています。夏休みの期間中は、「コペルくん・サマースペシャル」と名づけて、一日中みんなで宿題をしたり、海へ行ったりして楽しい時間を過ごしています。

夢を持ってほしいと思います。すごく大きなものでも、小さな憧れであってもいい。そういうモデルや目標といったものがあり、それに近づこうという気持ちを持つことが大事です。それが志を持つことにつながっていくと思います。たとえ、夢に向かって努力できなくても落ち込むことはないでしょう。「志」がしっかりしていて、前に向く気持ちさえあれば、未来への道からズレてしまうことはないと思います。

昨年の12月から、「ピースプロジェクト」と名づけて、自殺防止のため、Tシャツ・トレーナーの販売を始めました。オリジナルデザインの製品を買っていただくと、その代金の一部が自殺対策に使われるしくみになっています。いずれは、このプロジェクトが大きなムーブメントになり、自殺防止活動に取り組む他の団体にも使っていただいて、自殺防止の取組みが世の中にもっと広がっていけば、と思いながら活動しています。

